

各 位

上場会社名 株式会社ゼクー  
(コード番号 2758 東証マザーズ)  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 雄一  
本店所在地 東京都中央区八重洲 1 - 5 - 15  
問合せ先 代表取締役社長 伊藤 雄一  
T E L 03 - 3517 - 5322

## 業績予想の修正および前渡金勘定の調査における中間報告に関する記者会見の概要について

本日、午前10:00より業績予想の修正および前渡金勘定の調査における中間報告に関する記者会見を株式会社東京証券取引所内の兜クラブで行いましたので、下記のとおりお知らせいたします

### 記

#### 1. 報告内容

平成17年5月26日付で情報開示している「業績予想の修正」、「前渡金勘定の調査における中間報告」、他2件の内容につきまして、報告いたしました。

平成17年3月期決算の業績予想の修正に関しましては、前渡金勘定の残高3,648百万円に対し、貸倒引当金の計上を行ったことが最大要因であり、前渡金勘定の残高推移および内容について、平成17年5月26日付の情報開示内容に沿って、代表取締役社長の伊藤から報告いたしました。

#### 2. 上記をふまえ、ご出席者からの質問事項および当社の回答につきましては、以下のとおりです。

##### 質問事項 1

前渡金の支出において、社内手続きがなされていないのはどういうことか？

##### 回答

取締役会の決議を経ていないものが大部分であり、決議があるものについても内容の詳細がない。

##### 質問事項 2

支出に関しては三輪取締役の独断と判断しているのか？

##### 回答

そう考えている。

##### 質問事項 3

平成16年9月期においてすでに約14億円もの残高があるが、取締役会は阻止できなかったのか？

他の取締役にも責任はあると思うが？

##### 回答

残高認識および内容について、少し違和感を感じたのは平成16年12月頃です。当時、取締役が2名辞任し、また、三輪取締役からも支出分について、回収するという旨の発言が社内の会議等でもあったが、様子が違っていた。現任の取締役として責任は感じている。

##### 質問事項 4

違和感を感じたのが平成16年12月頃であるのに、なぜ平成17年1月以降の支出が多いのは？

##### 回答 (同席の調査委員長より)

平成17年1月以降は直接的な支出ではなく、三輪取締役が東京事業部(当時は2.3人程度駐在)に会社の預金口座をつくり、資金移動のうえ支出している。当時、本社である大阪の経理部門ではその支出内容は確認できず、後に出納の結果だけわかったという経緯である。

##### 質問事項 5

支出先はどのようなところか？

##### 回答 (同席の調査委員長より)

当社の営業取引では関係のない企業および弁護士であり、弁護士に関しては3人おり、うち2人は残高の照会に関する返答があり、おそらく三輪取締役だと考えられるが、当社の指示による相手先に支出していると回答がある。残りの1人は弁護士と聞いているが、実際のところ所在も不明で、弁護士かどうか不明である。

質問事項 6

債務超過ということはないのか？

回答（同席の調査委員長より）

平成17年5月31日に3月期決算を正式に発表をいたしますが、約7億9千万円は余剰がある。そういうことにはならない。

質問事項 7

三輪取締役の処遇および所在は？

回答（同席の調査委員長より）

取締役については、辞任届が提出されていないため、株主総会における選任、不選任という形になります。ただ弊社が刑事告訴などの手段をとった場合は状況が変わると考えている。

所在については不明であり、連絡も自宅、携帯ともに取れない。この状況は4月10日前後からであり、健康診断等で中国に行くという話は聞いていたが、その後は不明である。4月の下旬に連絡がとれたものからは、アメリカにいるとの話はある。

質問事項 8

刑事告訴は行うのか？

回答（同席の調査委員長より）

平成17年5月31日の取締役会において諮問しその決定をした場合、そうなるかもしれない。

質問事項 9

今後の事業展開は？

回答

平成17年5月31日の決算発表にて詳しくお話するつもりです。

質問事項10

株主に対してお願いいたします。

回答

今回の件については本当に申し訳なく思っております。株価も低迷しており、基幹事業に注力し業績と信頼の回復に努める所存であります。

以 上